

グループごとの意見交換

田中さんと名倉さんのお話の後、参加者の方々と班ごとに分かれ、「おいしい収穫祭」を見学した感想と質問したいことについて、意見交換を行いました。各班の意見をご紹介します。

A班

- ・三鷹にも似た雰囲気があり、三鷹のにぎわいづくりをイメージしやすい場所だった。
- ・保健所のルールを合法的にできるような仕組みを行政と協力してつくっていききたい。
- ・裏でどれだけの苦労があるのか。市と地域で組んで取り組んでいきたい。
- ・なぜ蒲田の中でもこのエリアで取り組むことになったのか。

B班

- ・今日のイベントはにぎわっているが、このようなイベントで来場者数を期待するのは難しそうである。
- ・白いテントが揃っていて和む。テーブルや看板は特色があってよい。どうつくっているのか。
- ・金曜に来たら飲みたくなる雰囲気である。
- ・コンパクト感は三鷹に似ているので、三鷹にも活かそうである。
- ・道路空間の可変的な利用を視察して、ノウハウが学べた。
- ・出店者はどういった団体の人なのか。地元の人か、日頃から営んでいる店舗なのか。
- ・出店料はいくらなのか。また、各店舗の採算はとれているのか。
- ・エリアマネジメント活動として、イベントの開催以外は何が取り組んでいるのか。

C班

- ・それほど広くない通りだったが、イベントができていて感心した。
- ・思ったよりもにぎわっており、大人だけでなく、人工芝には子どもがたくさん集まっていた。
- ・出店料はいくらなのか。
- ・イベントの実施にあたり、近隣の飲食店への影響や反発はないのか。
- ・エリアマネジメント活動として、イベントの開催以外に何か取り組んでいるのか。
- ・イベント時以外のにぎわいはどうなっているのか。

D班

- ・駅に降りてから来るまで、盛り場からおしゃれな感じがかった。
- ・イベントを実施しているが出店者集めや保健所への届出など苦労している。
- ・楽しいと人が集まる仕組みがよくわかった。(道路開放とで共通)
- ・準備運営が大変と思われた。三鷹だとどうするのか。社団法人化すればコストで解決できるのか。
- ・社団法人化の経緯はどうだったのか。
- ・武蔵野市でできるのか。保健所は協力的なのか。
- ・出店者集めが大変だったのではないかと。どういう人をターゲットにしているのか。
- ・法規制の壁についてはどうだったのか。また、かたらの道ではどうなるのか。
- ・地元企業の協力は得られているのか。



出席者

- | | | |
|-----------------|------------------|------------------|
| ・三鷹駅北口商店会 | ・横河電機(株) | ・三鷹駅北口地区まちづくり準備会 |
| ・八丁商和会 | ・(株)モンテローザ | 《事務局》 |
| ・NTTクラリティ (株) | ・(株)タツノコプロ | ・武蔵野市役所 |
| ・多摩信用金庫 | ・NPO法人武蔵野スポーツクラブ | ・武蔵野市開発公社 |
| ・東京電力パワーグリッド(株) | ・むさしのマルシェ実行委員会 | ・八千代エンジニアリング(株) |

質疑応答

意見交換の中で、ぜひ田中さん・名倉さんに聞いてみたい!となった質問を、各班の代表者からお聞きしました。

A班

なぜ蒲田の中でもこのエリアで取り組むことになったのか?

2002年に大田区で中心市街地活性化基本計画が策定され、その事業候補地としてこのエリアの街路の回遊性向上の話があり、その際においしい道の社会実験を行った。2010年には大田区の都市計画マスタープランに回遊性に関する事業が掲載され、あわせて、旧逆川道路の電線類の地中化の話があがった。そこで、行政とパートナーシップを組んで、地域から案を出して事業を実施した。道路を商店街だけで維持管理をすることは難しいため、一般社団法人蒲田東口おいしい道計画の前身となる任意団体をつくることになった。

B班

イベント出店者は団体に入会しなければならないのか?

出店する際に入会していただく必要はない。一般社団法人では社員総会が開かれるが、入会すると社員総会での議決権を持つ。現在は10社加盟いただいている。BID (Business Improvement District) 制度を参考としているため、年会費は高めに設定している。地域全体が活性化すれば個々の収益が上がるかという明言できないが、地域の活性化と地権者の利益が循環するような仕組みであることを理解してもらって入会していただいている。

C班

出店料はいくら? 採算はとれているのか?

出店料は社会実験であるため無料としており、出店者にもエリアマネジメント活動の一環であることを理解いただいている。採算については、そもそも非営利の事業であり、みなさんで色々な地域課題を持ち寄り、その解決に向けて活動している。イベント実施の費用は、全体の5/6を補助金、残りの1/6を会費や受託事業で得た資金をあてている。いずれは補助金と会費、受託事業がそれぞれ1/3ずつの割合になるのが理想だが、その時々地域課題に予算がリンクするので何をやるかによって変わってくると考えている。

D班

出店者の集め方は?

2014年6月のスタートアップ・イベントは商店街にご協力いただいて、加盟しているみなさんに連絡して申し込んでいただいた。実際はキーマンがいるので、商店街の若手でお店の営業以外にも手を出せるような方を中心に参加いただいたのではないかと考えている。次のイベントの際に、第1回の出店者の方々を回することはしたが、それ以降はスタッフ不足もあり、なかなか回れていない。続けて出店してくださっている方々は、イベントの趣旨を理解していて、現在の十数店舗に落ち着いている。最近は出店者が他の店舗をご紹介いただくような横のつながりを活用して成り立っている状態である。また、地権者のテナントは必ず出てくれる。地権者のそういったオーナーシップのあり方もあると思う。

第3回三鷹ラボの予定

ラボメンバーの皆様へ

次回の三鷹ラボでは、参加者のみなさんに各団体・企業の取組みをご紹介します。取組みの紹介については、第2回三鷹ラボでお願いしたワークのもとにお話いただきます。また、みなさんにご紹介いただいた内容を踏まえて、活用アイデアなどについて意見交換していきます。

内容

- ・これまでのおさらい
- ・各団体・企業の取組みの紹介
- ・三鷹駅北口らしいパブリックスペースのつかい方に関する意見交換

第4回以降の予定

第4回

平成30年12月
活用アイデアの共有

第5回

平成31年 3月
今後の展望について

問合せ先

武蔵野市 都市整備部 まちづくり推進課

所在地: 〒180-8777 東京都武蔵野市緑町2-2-28 4階東棟

T E L : 0422-60-1872

M A I L : SEC-MACHIDUKURI@city.musashino.lg.jp

平成30年11月 発行